「さつま(の)・ネ(へ)ーブ(そ)ル~南国憩いの広場構想~」

1.　はじめに

鹿児島港発祥の地である本港区は、行政主体で、離島・奄美航路の集約化を図る整備が進められており、鹿児島湾を隔てた桜島の眺望に優れた臨港区である。

県では、91年に「ポートルネッサンス21事業」(以下、「PR21」と言う。)の名称で、本港区約 5ha を核とした、本港区の定期借地法式よる民間開発を計画している。

現在、経済の長期低迷化と、高齢化・少子化の進展のもと、「PR21」の明確な整備方針は示されていない状況にある。

そこで、「21世紀に向けた“みなと鹿児島”」の創造につながり、住民の憩いの場となる本港区整備計画を提案する。

2.　本港区の現状と課題

本港区は、「かごしまウォーターフロントフェスティバル」・「錦江湾サマーナイト大花火大会」等のイベントを年に数回開催しており、イベント開催時には、賑わいを見せている。

しかし、平時は、隣接する「かごしま水族館(いおワールド)」や「桜島フェリー」乗り場の利用者を除いて、人影は見られない状況にある。

一方、本港区北部に接する祇園之洲地区や南部に位置する与次郎ヶ浜地区においては、イベントの開催はないものの、大規模店舗や飲食店が集積しており、多くの人が詰め掛け、週末ともなれば、恒常的な道路渋滞が生じるほどの賑わいを見せている。

本港区において、「PR21」を推進していく上で、次に示す3点が課題となっている。

- 集客施設の誘致策
- 桜島の眺望を活用した整備手法の立案
- 幼い子供連れから高齢者までを対象とした施設配置

3.　本港区整備手法の提案

本港区の整備手法として、県内外から多くの人が気軽に集える空間として、鹿児島・薩摩の中心(へそ)となるよう「さつま(の)・ネ(へ)ーブ(そ)ル~南国憩いの広場構想~」整備を提案する。

具体的な提案を以下に示す。

1).提案理由

本港区は、公共交通機関を利用しての利便性が悪く、鹿児島市の歓楽街である「天文館」、並びに九州新幹線始発駅となる「西鹿児島駅」(改称名:「鹿児島中央駅」)とのアクセスが確保されていない。

また、市内には主に成人男性を対象とした公認賭博場等の遊戯施設が目立つのみで、青少年や高齢者並びに幼い子供連れ家族が

集う空間整備がなされていない状況にある。

そこで、本港区に行政界を超え、幅広い年齢層の人々が気軽に集える空間整備を行う必要がある。

2.)具体的整備手法

①.アクセスの確保

現在、市内に整備されている環境にやさしい乗り物である路面電車(市電)の路線系統において、鹿児島駅－郡元間を南北に接続する新たなルートを接続させ、公共交通機関のアクセスを向上させる。

また、本港区内の道路全てに駐車帯を設け、乗用車の駐車スペースを確保する。

これらにより、交通手段のバリアフリーが図られるものと期待される。

②.中央ゾーン整備

中央ゾーンの整備においては、民間活力を導入した P.F.I.方式による核となる 2 つの施設整備を提案する。

ア.複合商業施設整備

B.O.O.方式による施設運営を計画する。

テナントとして、フランチャイズのファースト・フード店やカジュアル小売店を誘致し、安価と気軽さにより、集客性を高める。

カフェや露天商品を販売する店舗やその他のサービス業も参画し、若年層や女性から支持される複合商業施設とする。

複合商業施設は、ボード・ウォークで連続させ、楽しく歩けるショッピング・モールを形成させる。

なお、複合商業施設の施設高には、規制をかけ、近傍からの桜島の眺望を妨げることのないよう低く設定する必要がある。

また、制限した店舗の屋上も連続するスカイ・デッキとして整備し、公園施設と一体となった利用を図る

イ.温泉・スパ施設整備

B.O.T.方式による施設運営を計画する。

豊富な温泉源・地域資源を有効活用し、高齢者を含む家族連れなどが楽しく集い、スパから望む錦江湾のマリンブルーの景観を共感する施設整備を行う。

施設内は、帰省客や観光客にも鹿児島の風土を十分に堪能きる郷土工芸を活用した装飾も計画する。

3).維持管理

本港区の公園施設の維持管理については、近隣の小・中学校や企業などとアダプティブ・マネジメントによる契約を取り交わすことにより、経費節減を図るとともに、維持管理活動を通して青少年の情操教育に寄与するものと期待される。

4.　おわりに

我が国の高度成長期の急速な発展とバブル経済崩壊の反動、更に、本格的な高齢化社会の到来により、国民の関心は、重厚・濃厚なものから自然で感性を重視するものへ、物の豊かさから心の豊かさへ移りつつある。

本港区の整備においても、地域のニーズに応じ、住民の意見のキャッチ・アップに努めながら、新たな発想・創意工夫に基づく「さつま・ネ(の)ー(へ)ブル(そ)~南国憩いの広場構想~」整備の展開を図る必要がある。